

杉村泰教名誉教授略歴

I 学歴

- 昭和 47 年 3 月 東北大学文学部英文学科卒業
- 昭和 63 年 12 月 カリフォルニア州立大学 (Dominguez Hills) 大学院人文科学研究科修士課程修了
- 平成 17 年 4 月 東北大学大学院文学研究科博士後期課程 (社会人研究者コース) 編入学
- 平成 20 年 11 月 東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了

II 学位

- 昭和 63 年 12 月 Master of Arts (カリフォルニア州立大学)
- 平成 20 年 11 月 文学博士 (東北大学)

III 職歴

- 昭和 47 年 4 月 兵庫県立高等学校教諭
- 昭和 58 年 4 月 国立秋田工業高等専門学校講師
- 昭和 62 年 4 月 同 助教授
- 平成元年 10 月 小樽商科大学商学部助教授
- 平成 3 年 10 月 同 言語センター助教授
- 平成 7 年 10 月 同 教授
- (平成 19 年 3 月～平成 20 年 3 月 ケンブリッジ大学 Darwin College 客員研究員)
- 平成 23 年 4 月 小樽商科大学言語センター特任教授
- 平成 25 年 4 月 小樽商科大学名誉教授

IV 受賞

- 平成 2 年 4 月 青葉文学賞

杉村泰教名誉教授研究業績表

I 著書

The Void and the Metaphors: A New Reading of William Golding's Fiction. Oxford and Bern: Peter Lang, 2008

II 論文

1. 「William Golding における二つの世界」, 『英文学研究』58 巻 1 号, 日本英文学会, 49-59 頁, 1981
2. 「Murdoch に見られる自然描写の効果について」, 『英文学研究』59 巻 1 号, 日本英文学会, 71-84 頁, 1982
3. 「The Archetype and Its Meanings in Hardy's Novels」, 『秋田高専研究紀要』19 号, 92-97 頁, 1984
4. 「ハーディの小説における死と不安 — 原型論的考察」, 『試論』第 23 集, 東北大学「試論」英文学研究会, 43-62 頁, 1984
5. 「The Problem of "Darkness" in Golding's Novels」, 『秋田高専研究紀要』20 号, 134-139 頁, 1985
6. 「素朴なる認識論 — ゴールディング『後継者たち』にみる感受性と想像力の問題」, 『秋田高専研究紀要』21 号, 96-103 頁, 1986
7. 「反復と相対性 — ハーディ『青い眼』の内部構造」, 『試論』第 25 集, 東北大学「試論」英文学研究会, 69-88 頁, 1986
8. 「The Problem of Sensibility: Spectacles and Mental Images in *Lord of the Flies*」, 『秋田英語英文学』28 号, 秋田英語英文学会, 26-33 頁, 1986
9. 「サリンジャーの芸術における無形の美」, 『東北アメリカ文学研究』10 号, 日本アメリカ文学会東北支部, 52-65 頁, 1986
10. 「The Plotting of *Pincher Martin* by William Golding」, 『秋田高専研究紀要』22 号, 105-110 頁, 1987
11. 「Balance and Self-Destruction: The Two Vying Forces Inside *A Pair of Blue Eyes*」, 『日本ハーディ協会会報』14 号, 日本ハーディ協会, 41-48 頁, 1987
12. 「ゴールディング『紙の男』に見る自我と掟」, 『秋田高専研究紀要』24 号, 92-96 頁, 1989
13. 「Hallucination and Plotmaking Principle in *Pincher Martin* by William Golding」, 『英文学研究 英文号 1989』, 日本英文学会, 21-36 頁, 1989
14. 「Self and Predicament in William Golding's Fiction」, 『試論』第 29 集, 東北大学「試論」英文学研究会, 53-69 頁, 1990
15. 「God and Escalation of Guilt in the Novels of William Golding」, 『人文研究』第 80 輯, 小樽商科大学, 1-13 頁, 1990

16. 'Reconsideration of the Plot and the Double Ending in *The Well-Beloved*', 『日本ハーディ協会会報』16号, 日本ハーディ協会, 23-32頁, 1990
17. 「『テス』に見る象徴の固定と溶解」, 『人文研究』第83輯, 小樽商科大学, 259-286頁, 1992
18. 'Self-Destructive Community and the Improbability of War in *Lord of the Flies*', 『英文学研究 英文号1994』, 日本英文学会, 47-64頁, 1994
19. 'Mimesis, Illusion, and Illumination in *Darkness Visible* by William Golding', 『人文研究』第88輯, 小樽商科大学, 127-151頁, 1994
20. 「ゴールディング『自由落下』に見られる寸断された時間」, 『人文研究』第89輯, 小樽商科大学, 89-105頁, 1995
21. 「『尖塔』に見る掟と享楽」, 『人文研究』第90輯, 小樽商科大学, 129-152頁, 1995
22. 'Law and the Maternal in *The Inheritors* by William Golding', 『英文学研究』75巻1号, 日本英文学会, 43-60頁, 1998
23. 'Illusional Reflection and Quasi-Religious Authority in Golding's Novels', 『人文研究』第100輯, 小樽商科大学, 129-150頁, 2000
24. 'Psychic Tragedy amidst Farce in Golding's *The Paper Men*', 『人文研究』第102輯, 小樽商科大学, 41-57頁, 2001
25. 'A Significance of Golding's Minor Novel *The Scorpion God*', 『人文研究』第103輯, 小樽商科大学, 85-104頁, 2002
26. 'A Reconsideration of Oa the Earth Goddess in William Golding's *The Inheritors*', *The Modern Language Review*, The Modern Humanities Research Association (UK), Vol. 97, No. 2: 279-289, 2002
27. 'Difference versus Defilement in Golding's *To the Ends of the Earth*', 『人文研究』第106輯, 小樽商科大学, 59-81頁, 2003
28. 'A Concealed Void in the World of Golding's *The Double Tongue*', 『人文研究』第108輯, 小樽商科大学, 23-35頁, 2004
29. 'The Gaze and Counter-Gaze Inside a Pyramidal Structure in William Golding's *The Pyramid*', 『試論』第43集, 東北大学「試論」英文学研究会, 23-39頁, 2006
30. 'Golding as a Psychological Novelist', 『川内レビュー』第5号, 東北大学英語文化比較研究会, 49-63頁, 2006
31. 'Reading the Void: A Reconsideration of William Golding's Fiction', 博士論文, 東北大学大学院文学研究科(文化科学専攻 英文学専攻分野), 2008
32. 'Gazes from Nature: Reading William Golding's "Miss Pulkinhorn"', 『人文研究』第118輯, 小樽商科大学, 115-128頁, 2009
33. 'An Ecocritical Paradox: The Unrepresentable within Nature', 『人文研究』第119輯, 小樽商科大学, 37-53頁, 2010
34. 'A Reconsideration of the Validity of Post-Structural Ecocriticism', 『人文研究』第121輯, 小樽商科大学, 81-95頁, 2011
35. 'A Survey of Ecocritical Thinking from Marxism to Postmodernism', 『人文研究』第124輯, 小樽商科大学, 55-70頁, 2012

III 学会発表

1. 「マードックに見られる自然描写の効果について」, 日本英文学会第 52 回大会, 甲南女子大学, 1980
2. 「運命と反復 —『青い眼』の相対的世界」, 日本ハーディ協会第 28 回大会, 弘前大学, 1985
3. 「Salinger の作品に見られるイメージの連鎖と重層」, 日本アメリカ文学会第 24 回大会, 三重大学, 1985
4. 「ゴールドディング『ピンチャー・マーティン』における排除作用とプロット形成」, 日本英文学会第 59 回大会, 中央大学, 1987
5. 「William Golding の小説に見る掟と妄想」, 東北英文学会第 43 回大会, 秋田大学, 1988
6. 「『蠅の王』に見られる象徴と、その解体」, 日本英文学会第 63 回大会, 明治大学, 1991
7. 「自然と差異 — 廃墟の中の『後継者たち』」, 日本英文学会第 68 回大会, 立正大学, 1996
8. 'Environmental Destruction and Self-Destruction in *Lord of the Flies*', The William Golding Centenary Conference (ウィリアム・ゴールドディング生誕百周年記念国際会議), University of Exeter, Cornwall Campus, 2011